

# 《三洋電機が1万4000人の人減らし・工場閉鎖・売却!》

## 「もうやめてください、人減らしリストラは」

三洋電機は野中ともよ会長、井植敏雅社長の新経営陣が7月5日の記者会見で、震災や経営不振で過去最高の赤字を出したことを理由に、国内工場の20%の閉鎖・売却(敷地ベース)、全社員の15%の削減、国内社員の20%の異動などを含む3カ年経営計画を発表しました。その中で今年度中に国内のグループ社員3800人を削減することや、希望退職を募ることもありえることを明らかにしました。

すでに、この4月に会社が残業割増率の切下げ、一時金の協定通りの実施を凍結など労働条件の切下げを提案し労組が受け入れたばかり。さらに、同じ頃より実施されている営業への1200名の配置転換では、指名された人のほとんどが退職する職場もあり、営業研修に行かされた社員からは、「まるで、退職するまで待つ収容所のような。なんとかしてほしい」などの声があがっています。また、賃金ダウンを伴う半導体新会社への転籍では、対象者約2000人の中から300人以上の退職者が出ています。

そこへ大リストラ計画の発表です。社員の間から「もうやめてほしい。心配で仕事も手がつかなくなる」などの声が聞かれます。

もうこれ以上、労働者にギセイを押し付けることは許されません。

三洋電機は大企業としての社会的責任を果たすべきです。

「『事業の選択と集中、スリム化、絞込み...』いろいろ言うてくれるが、テレビ事業から国内は撤退するのではないかと、とか、別会社化して全員解雇、賃金ダウンの再雇用となるのではないかと...、不安がいっぱい。(大東)

「長年一緒に頑張ってきた部下の首を切るなんてことは俺には出来ない。」と言って自ら退職を決意した管理職もいますが、営業研修を言われて退職する人の後ろ姿が寂しくて「殆どの人が明日はわが身」を実感しています。(東京製作所・群馬)

「数人集まれば、この中で何人がリストラか、との話が出ます。白モノ職場なのに暗い。みんな不安で疲れています。ええかげんにリストラはやめてほしい!」(滋賀)

1万4千人リストラの発表を見たが、自分たちは責任をとらずに、ニコニコしながらリストラするなんて耐えられない。(群馬)

現在約230人の組合員は10数年前の半分です。仕事量が増え成果主義で目先の成果に追われてしまい技術開発をしている実感がありません。4月に営業へ配転された人たちは大変な状況に追い込まれています。「次は私か誰かが?」と不安で憂鬱です。(研開本部・枚方)

リストラの押し付けはイヤ!



### 新経営陣にひとこと

野中会長と井植社長が「地球と生命が喜ぶ会社になる」と全三洋の働く人々を前にサインまでしてエボリューション宣言。ところがその直後、今度は三洋のほとんどの人を不安に落とし入れるリストラ宣言。三洋マンは地球の生命体ではないのでしょうか? 自らのことばに責任をもつべきでは...

発行者: 電機労働者懇談会 中山森夫  
〒108-0073 東京都港区三田 3-2-20  
Tel: 03-3455-6006 FAX: 03-3451-3595  
編集: 三洋電機労働者懇談会  
発行 2005年8月(号外)

Electric Labor and Industry Correspondence  
**ELIC**  
(三洋電機版)

一人でも入れる組合です! ご相談を  
**電機ユニオン**  
電話: 03-3455-6006(東京)  
06-6354-7237(関西)  
メール: denkikon@nifty.com

# 震災被害も 業績悪化も 労働者に責任はありません!!

## 闘って、リストラをハネ返えしましょう

三洋電機は、史上最高の連結最終赤字1715億円の責任がまるで労働者にあるかのように、一方的に労働者に人減らしリストラをおしつけて、業績を回復しようとしています。しかし、業績悪化も有利子負債の肥大化も経営者がみずから招いたもの、労働者に責任はありません。とはいえ、会社が事業縮小や工場閉鎖・売却などを公言している以上、それにともない発生する余剰人員対策として退職強要を迫ることが十分に予想されます。会社の言いなりになっているだけでは生活も雇用も守れません。みんなで力をあわせて闘い、リストラをハネ返えましょう。

### 面接でのガンバリが、あなたと家族を守ります

#### 退職強要をハネ返す4ヶ条

「私はこの会社に残ります」この一言があなたと家族を守ります。

それでも会社が「同意」をせまってくれば「これ以上の説得や面談はやめてください」ときっぱりといきましょう。

「同意するまで」何回も面談する「応じなければ仕事はない」などと迫れば違法です。「労働基準監督署か弁護士に相談します」といみましょう。

「会社は大変」と言われたら、「私の生活も大変」と答えましょう。

### 《 転勤・配転に「ノー」と答えるための5章 》

#### 「行きたくない」は正当な理由

行きたくない、と思うすべての理由は正当です。他人(会社)が正当か否かを判断することは誤りです。

#### 生活の危機を主張しましょう

「配転がいやなら辞めてください。残っても働く場はありません」には「辞めません、会社の都合ばかり言わないでください」と答えましょう。仕事を守り家族を守るのは労働者として当然です。

#### 長年働いてきたことを主張しましょう

長年、苦勞して積み重ねてきた知識・技能、人間関係などが水泡に帰してはたまりません。

#### うまく言えないときは、だまりましょう

うまくしゃべれない、自信がないときは、いろいろ言われてもだまっています。

#### ひとりで悩まず、多くの人と相談しましょう

一人で悩んでもいい知恵はできません。労働組合や信頼できる仲間、地域の民主団体などに相談しましょう。

## 退職強要をうけたら、ひとりで悩まず、相談を 電機労働者懇談会・関西電機労働者懇談会へ!!

電話：03-3455-6006(東京) 06-6354-7237(関西)

メール：denkikon@nifty.com

『電機労働者懇談会』は、電機労働者の生活と権利をまもるために討論し交流する組織として1988年6月に全国の電機の職場で働く仲間が、正規・臨時・パート・派遣の区別なく自主的に結成したもので、三洋電機でも『三洋電機労働者懇談会』が結成されました。会は機関紙として、情報誌『ELIC』(月刊1部100円)を発行しています。